

平成26年度予算を可決

市議会3月定例会が2月26日に招集され、3月24日まで27日間の会期で開かれました。上程された議案は平成26年度一般会計予算および各特別会計予算、熱回収施設等建設工事請負契約の締結など50件と、議員提案6件です。55件が原案のとおり可決され、市長に対する辞職勧告決議案1件が否決されました。

一般会計予算

国の財政対策では、歳出特別枠や交付税の別枠加算の縮小などにより、地方交付税を前年度比2千億円減の16兆9千億円としています。実質的な交付税で、ある臨時財政対策債も6千億円削減され、5兆6千億円となっています。

にかほ市では、歳出面で人件費、扶助費、公債費などの義務的経費の構成割合が49・8%と依然として高い割合を占めています。政策的・投資的経費の財源については、合併特例債などの有利な地方債や財政調整基金、地域の元氣臨時交付金基金などに依存する財政運営となっています。

このため引き続き「にかほ市第2次行財政改革大綱」に基づき、更なる行財政改革を推進し、

市債の積極的な繰上償還に取り組みながら、将来負担の軽減を図り、健全財政の維持・強化に努めていきます。

26年度一般会計当初予算は、まちづくりの基本理念を踏まえ、現下の諸課題に対応するため、「雇用の維持と新たな雇用機会の創出につながる産業の振興」「市民の命を守るための防災・減災対策」「子育て支援の充実等による市民福祉の向上」「道路橋梁等の社会インフラの整備」などに重点を置き定めました。

【主な歳出予算】

- ・熱回収施設本体建設工事 4億1,618万6千円
- ・避難所屋外LED照明灯整備工事 5,388万8千円
- ・白雪橋補修工事 8,600万円
- ・コールセンター等企業立地促進事業補助金3,875万円

新年度に臨む 市政運営の基本方針

1. 安心して暮らせる 福祉のまちづくり

○高齢者の生活支援

本市の人口に占める75歳以上の割合は平成26年1月末現在17・2%で、ひとり暮らし等の高齢者世帯が増加しています。

高齢者の交流の場づくりや高齢者に理解のある地域づくりを推進するほか、自治会や民生児童委員、郵便配達事業者等と連携し、見守りネットワーク体制を強化します。

また、認知症予防支援事業の推進を図り、認知症の進行度合いに合わせ「いつ、どこで、どのような医療・介護サービスを受ければよいか」など、容易に把握し理解できる支援体制を整えます。

○夢ある子育ての支援

子どもたちの健やかな成長を支援するため「子ども・子育て支援計画」の策定を行い、地域における子育てサポート体制の充実、子育てと仕事の両立など、保護者の多様なニーズに対応できる体制を整備します。

○多目的福祉施設の整備

象潟地区「老人福祉センター」に代わる新たな施設の整備を検討する「にかほ市多目的福祉施設整備検討委員会」を設置し、施設の機能や設置場所、規模などについて検討しました。その結果、象潟公民館も活用できる施設として、隣接して建設するなど基本的事項について答申をいただきました。

○生涯にわたる健康づくり

幼児の歯科健診は、現在、1歳6カ月児、3歳児、5歳児と3回実施していますが、乳歯が生えそろった2歳ごろから「う歯（虫歯）」が急激に増加しているため、新たに2歳児の歯科健診を実施します。

また、市ではこれまで県の特定不妊治療助成に5万円を上乗せしてきましたが、特定不妊治療には高額なものもあることから、26年度からの助成額を15万円に拡充。また、新たに一般不妊治療や、不育症治療の自己負担分についても、年1人あたり10万円を限度に助成します。

2. 自然豊かで 住みよいまちづくり

○快適な生活環境づくり

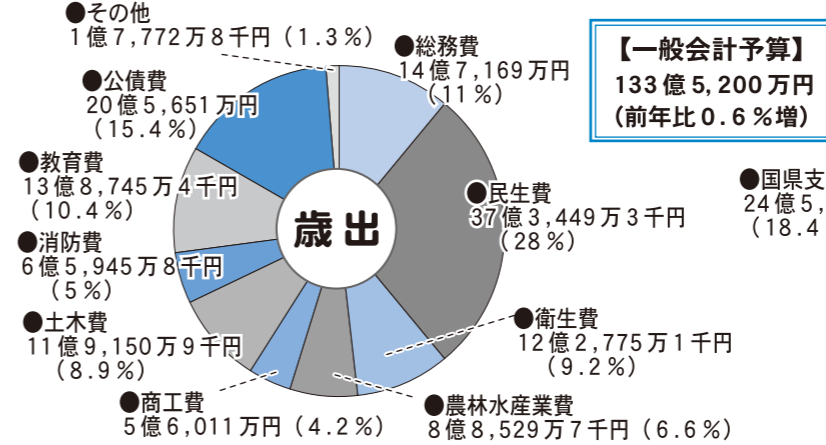
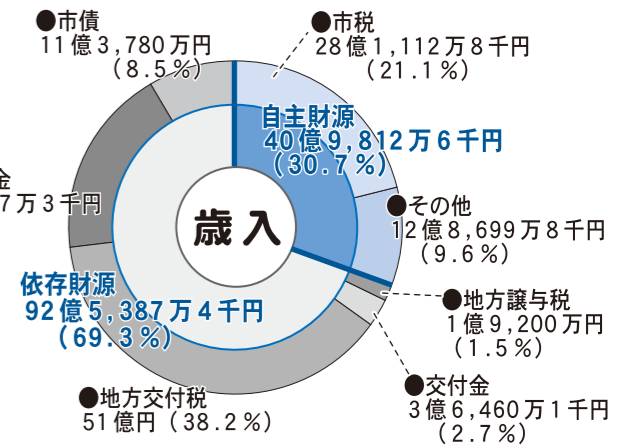
28年度までの簡易水道統合に向け、26年度から2カ年にわたり、小砂川簡易水道の整備を行います。27年度からは、関・中ノ沢簡易水道および上小国簡易水道の整備を計画し、29年4月から全ての簡易水道施設を上水道へ移管し安定供給に努めます。公共下水道事業については、堺田地区および鳥の海地内の面整備を実施し、農業集落排水事業では、伊勢居地区の機能強化を進めます。

○交通ネットワークの整備

幹線道路整備「前川象潟2号線」の実施設計と用地測量業務を委託します。幹線道路で通学路となっている「平沢小出2号線」の歩道拡幅に向けた測量設計業務を委託します。橋梁長寿命化工事として、白雪川に架かる白雪橋の補修工事を行います。室沢地区の道路冠水対策として、排水路整備の実施設計および横断力所の改良工事などに着手します。

○災害に強いまちづくり

土砂災害対策として、昨年8月と11月に、県内で大規模な土



※一般会計項目の解説

【歳入】
その他…分担金及び負担金 1億2,317万6千円
使用料及び手数料 1億9,053万4千円
財産収入 2,783万円
繰入金 5億9,858万円
諸収入等 3億4,687万8千円
交付金…利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金など

【歳出】
その他…議会費、労働費、災害復旧費、諸支出金、予備費

各特別会計予算

国民健康保険事業特別会計	事業助成	33億673万9千円
施設助成	8,025万1千円	
後期高齢者医療特別会計	2億6,357万3千円	
簡易水道特別会計	1億6,218万3千円	
公共下水道事業特別会計	11億6,409万9千円	
農業集落排水事業特別会計	6億2,880万5千円	
ガス事業会計	7億2,665万1千円	
水道事業会計	7億181万1千円	

砂災害が発生したことから、県と合同で土砂災害危険区域内の住民に対して説明会を開催し、危険箇所を確認していただきながら看板を設置します。

地震における集会施設の倒壊等を未然に防止し市民の安全を確保することを目的に、集会施設の耐震設計および耐震改修に係る経費に対し助成を行っています。改修については、地域の負担をより軽減するため、上限を300万円から450万円に引き上げています。

○鳥海山ジオパークの推進

地球の歴史を学び楽しむことのできる「大地の公園」がジオパークであり、この「大地」には、地形・地層はもちろん、自然や農林水産物の恵み、そこで暮らす人々が育んだ歴史・文化も含まれています。

防災や教育、伝統文化等の学術研究、更には観光に結びつけて、26年度から、にかほ市・由利本荘市・遊佐町・酒田市の4市町が連携して、実行委員会を組織します。

次ページへ続きます